

平成 19 年 8 月 12 日

# TD 勉強会 情報 282

1. バージン アメリカ、ヤット就航
2. ルフトハンザ、エコノミーにベッド導入
3. 米国内線 定時性 最悪を記録
4. アラスカ航空の空港革命
5. トラベル 2.0: 旅行業界の認識と採用
6. その他のニュース



wsj.com, 8/6/2007

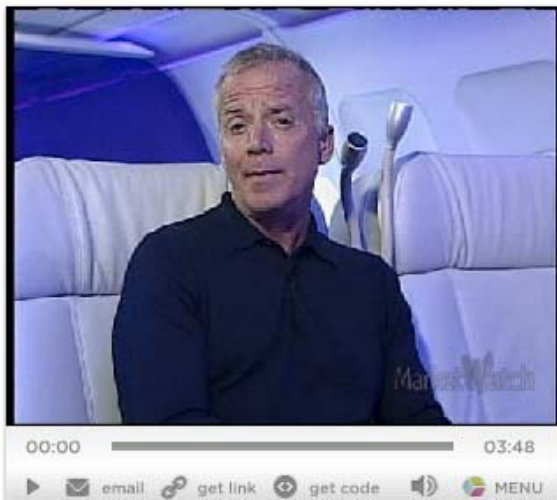
## 1. Will Virgin America Enjoy Much of a Honeymoon?

### バージン アメリカ、ヤット就航

8月2日、ヤット Virgin America が、SFO=NYC 毎日2便と SFO=LAX 毎日5便に就航した。国内線免許を申請してから、米運輸省を説得するのに17ヶ月間が費やされた。(運輸省は、Virgin America の米国企業として資格を、外資規制法に照らして厳しく審査した。)



Fred Reid, CEO of Virgin America, talked to Kelsey Hubbard last month about how the carrier plans to succeed in a competitive market with rising fuel costs.



F. Reid (57) 元 DL COO は、Branson との関係が強過ぎるとして、DOT より交代を要求されている。

## Massage Chairs in First Class



If not for you,  
upgrade for your  
shoulders, back  
and neck.



**Everybody Likes**  
the coolest living room in the neighborhood.

Main Cabin

[Learn More →](#)

Welcome to Virgin America. A brand new airline inspired by the idea of changing domestic air travel. We started with the things everybody likes. Seemed like a logical place to start.



**Everybody Likes**  
first class.

First Class

[Learn More →](#)



**Everybody Likes**  
a little mood lighting.

Lighting

[Learn More →](#)

- ・ 新興航空会社としては異例の\$128m (153 億円) の資金 (25%は Virgin Group が所有) ;
- ・ コーラから携帯電話から音楽ショップまで保有した “Virgin” のブランド力 ;
- ・ 真新しい 10 機の A319/320 型機による快適性に富んだキャビン ;
- ・ 衛星 TV、ラジオ、ビデオ・プログラム、3,000 曲の音楽、座席間のテキスト・メッセージ交換、機内食の注文が可能な座席背面エンタメ・システム ;
- ・ SFO=NYC \$310、SFO=LAX \$44 (7 月中旬迄の購入) の低運賃 ;
- ・ \$3m(3 億 6,000 万円)かけたマーケティング キャンペーン(SFO の City Hall を Virgin の真っ赤な色の証明でライトアップした。) ;

等の特徴とする Virgin America は、まさに米国内線の定時性と顧客サービスが最悪の時期に登場した。

その点では、2000 年に創立した jetBlue の状況と似ている。しかし、その jetBlue は、供給拡大に行き詰まり、2 月にはスケジュールの大混乱 (メルトダウン) を引き起こしてしまった。事業計画の急拡大のしわ寄せと言われている。そして、突然創立者の 1 人でもある CEO David Neeleman が更迭され、身売り説が囁かれ始めている。

Virgin America は、他の航空会社と同様に、天候によるスケジュールの混乱、混雑した航空管制システム、サイリックな需要変動の荒波に揉まれる事になるだろう。来月には、NYC 線に更に毎日 2 便を追加し、LAX=NYC 毎日 3 便を開設する。

Richard Branson (l) talks with an employee of Virgin America at New York's JFK Airport before boarding the airline's inaugural flight from New York to San Francisco. Massive storms delayed the morning flight by an hour. "What a strange day," said Branson. "I think half our guests haven't made it to the airport"



## 2. Lufthansa Weighs Offering Beds To Its Economy-Class Passengers

### ルフトハンザ、エコノミー・クラスにベッド導入

LH が、エコノミー・クラスに、3 階建てのバンク ベッド - fly-and-lie “kipper class” サービスを導入する。この座席は、耐空証明を取得しなければならないなど、未だ開発の初期的段階にある、と LH は語っている。ベッドの配置は、両端の列が斜めに、真中の列は飛行方向と同一方向に並べられている。つまり、魚の骨の形 (herringbone style) で座席数の減少をミニマイズしている。

離着陸時は、通常の座席の状態、飛行中は、蚕棚式のバンク ベッドに早変わりする。このクラスの旅客は、睡眠を第一に希望しているので、機内食はサービスされない。料金は、Y ノーマル運賃比 +£120 (28,800 円) のサーチャージとなる模様。

LH は、このバンク ベッドを、A380 型機のエコノミー・クラスに導入する事を計画している。



### 3. Tallying Summer Travel Woes

#### 米国内線 定時性 最悪を記録

今年上半期の米国内線が、運輸省が統計を取り出した 1995 以来、最悪の定時性を記録した。今年 1 月～6 月の定時性は 72.65% と、過去最悪であった 2000 年の 73.58% の記録を塗り替えた。欠航率は 2.52% で、2001 年のワースト記録を更新した。米運輸省によれば、6 月の定時性は 68.1% にまで低下し、欠航率は 2.7% に跳ね上がった。(前年 6 月の定時性実績は 72.8%。) 8 便は、平均 78 分～153 分遅延と、6 月の間、全便が遅延した。440 便が、定時性 20% しか確保出来なかった。462 便が、ゲートを離れてから、タクシーウエー上で 3 時間以上の離陸待ちを強いられた。内 12 便が、5 時間以上の待機を余儀なくされた。受託手荷物のトラブルは +36% も増加して 451,260 個の手荷物が、紛失されたか、誤った目的地に運ばれた。

7 月に入っても定時性の改善は見られていない。FlightStats の調査によれば、7 月の定時性は 71.7% と 6 月よりは改善されたものの、前年同月比で 4.1% ポイント悪化した。(運輸省は 7 月のデータを未だ発表していない。) 45 分以上遅延した便数は、前年比 +25% 増加した。

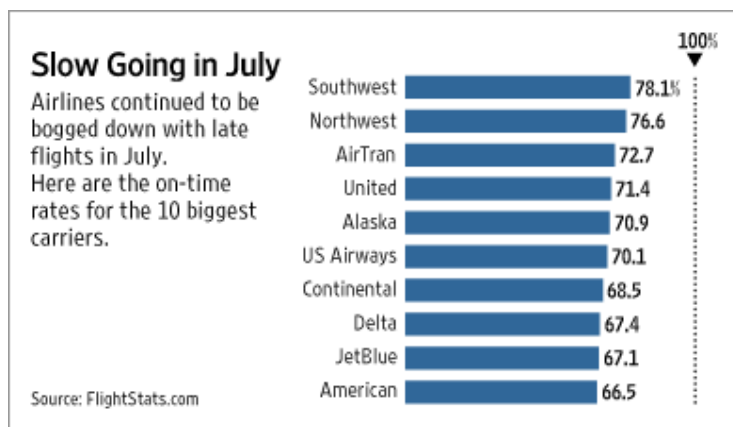
空前の高 L/F の為に、旅客の乗降に時間が余計にかかり、航空機の飛行場ステーション時間を長くしている。そして、ストランドした旅客の代替便の確保がママならなくなっている為に、各社は、遅れて到着する接続旅客を出来るだけ拾おうとして、便出発を遅らせてしまう傾向が強くなっている。つまり、1 便の遅延便の発生が、次々に他の便の遅延を誘発させてしまうと言う悪循環が発生している。

遅延便の対応に精一杯で、機内清掃も疎かにされている。その上、リストラで、各社が従業員数を徹底的にレイオフした為に、イレギュラー発生時の対応余力が著しく低下している。

この夏の航空旅客は、空港に於ける厳しいセキュリティー チェックを受け、満席の便にギュウ詰めにした上に、汚い機内と、遅延や欠航によるスケジュール混乱の苦痛を味あわされている。

どの会社も皆横並びで、サービス品質を最低レベル迄低下させてしまった為に、各社は、顧客サービス悪化を殆ど厭わなくなってしまった。この事態を改善する為に、議会は、旅客権利規定の導入を検討している。運輸省は、略 30 年振りにインボランタリー オフロード旅客に対するコンペンセーションを、現行の \$200～\$400 から 倍増させる事を検討している。連邦政府は、空の渋滞解消の為に、衛星を利用した次世代航空管制

システムの導入を計画している。そして、この為に、今後 20 年間に亘って \$20bn〜\$25bn（2 兆 4,000 億円〜3 兆円）の資金捻出を計画している。



Gary Hovland



管制コストは、現在、定期航空会社とその旅客が支払うユーザー・フィーと航空券税、殆ど全ての航空機から徴収される燃料税、その他の一般財源の 3 つのソースで賄われている。定期航空会社は、74%の管制サービスしか受けていないにも拘らず、コストの 90%を負担しているとクレームしている。一方、コーポレート・ジェットやその他のプライベート・ジェットを含むジェネラル・アビエーションは、16%の管制サービスを受けていながら、3%のコストしか負担していない。政府は、管制サービスの利用の多寡に従った、ユーザー・フィー中心の新たな管制料金システムの導入を検討している。ジェネラル・アビエーション業界は、コスト負担増となるこの案に猛反発しており、この問題は、航空業界に於ける最大の政治問題となっている。（自家用機を保有する大企

業は、彼等の大きな政治力を梃に、この計画修正を求めて政府に圧力をかけている。) 現行の管制ファンディング システムは、来月末で期限切れとなる。 政府は、それ迄に、新たなシステムをまとめなければならない。 これに失敗する場合は、空の混雑解消がそれだけ遠のく事になる。 FAA は、今後 10 年間で、米国の混雑空港のトラフィックが +30%~+40%、ジェネラル アビエーションのパイロットの飛行時間が 2020 年までに +59%、それぞれ増加すると予測している。 ■

Wsj.com, 8/9/2007

#### 4. Case of the Vanishing Airport Lines

##### アラスカ航空の空港革命

トラフィック ベースで米国第 9 位のアラスカ航空が、アンカレッジ空港で、空港革命を引き起こした。 アラスカは、2004 年にオープンしたコンコース C の 447,000-square-feet に、タッタ 1 つの小さなチケット・カウンターしか設置しなかった。 アラスカは、スペーシャスなホールに、セルフサービスのチェックイン・マシンと、“バググードロップ” ステーションを展開し、キャパシティーを倍増させ、スタッフの必要数を半減して、チェックイン コスト削減を成功させた。 勿論、空港に於ける旅客の所要時間も大幅に削減した。

アンカレッジ空港のコンコース C は、今迄の、壁際に一列にチケット・カウンターを長く並べた伝統的な空港とは、全く異なった出発ロビーのレイアウトとなっている。そこでは、入り口からカウンターの間のジグザクに蛇行した長い列も存在しない。 受託手荷物の無い旅客は、隅のセキュリティー審査レーンに直行する事が出来る。 受託手荷物のハンドリングは；

- ① “バググードロップ” ステーションで、ベルトコンベアに荷物を載せる、(アラスカ航空の空港社員でなくて、旅客自身が荷物をベルコンに載せなければならない)
- ② アラスカ航空の社員 (1 人) が、搭乗券と ID を確認し、手荷物タグの半券を旅客に渡す、(社員 1 人が、旅客 2 列をハンドリングする)

手順がとられている。 このハンドリング方式は、極めてスムーズに運営されており、長い列が発生する事は先ず無いと言う。(エリート FFP 客専用のバググードロップは別に用意されている。)



アラスカ航空は、このチェックイン プロセス（2006年にパテント取得）により、空港社員の旅客との対面時間を半減させる事に成功し、人的生産性を +20%〜+30%向上させる事が出来たと言っている。夏のツーリストが多くなる時期でも、旅客のアンカレッジ空港ロビー滞在時間は15分程度で済んでしまう。需要の閑散期では、2分もかからない。

アラスカ航空の空港革命は、秘密研究開発実験（"skunk works" lab）として10年前から開始されている。この実験で、航空旅行のハッスルを解消する為のテクノロジー利用が検討されて来た。航空券のオンライン販売や、オンライン チェックインなどは、皆この実験の中から生まれている。

アラスカ航空は、アンカレッジ空港に於ける空港革命を、SEA や他のハブ空港にも展開する事を計画している。SEA は、この秋には改修工事が開始されるだろう。アンカレッジ空港の画期的なレイアウトは、ライバル他社からも注目されている。彼等は、この空港の視察の為にスカウト団を派遣している。DL は、数ヶ月前に、Hartsfield-Jackson Atlanta International 空港のチェックイン ホールを\$26m（31億円）かけて改修し、アラスカ航空と瓜二つの施設を完成させた。 ■

New York University And PhoCusWright Inc. Joint Survey, June 2007

## 5. Travel 2.0: Trends in Industry Awareness and Adoption

### トラベル 2.0: 旅行業界の認識と採用

トラベル 2.0 という言葉は、ここ数年間、新たな、インタラクティブなアプローチを可能にする旅行テクノロジーとして、旅行業界全般に亘って使われている。トラベル 2.0 のプリンシパルは、透明性 (transparency)、コミュニティ、パーソナリゼーション、エクスペリエンスを中心に展開する。ユーザー ジェネレーテッドなインタラクションの採用は、旅行プロバイダーと消費者の間で、草の根的な勢いを作り出しているが、トラベル 2.0 を作り上げる個別のテクノロジーに対する調査は、少ししか実施されていない。

New York 大学の Preston Robert Trish Center for Hospitality, Tourism and Sports Management と PhoCusWright Inc. は、どのトラベル 2.0 のテクノロジーが採用されているのか、これ等のテクノロジーの目標は何なのか、どの位投資されているのか、そして、業界は、ど

の程度迄これを押し進めて行くのかについて、共同調査を実施した。調査は、203人の旅行プロフェッショナルを対象に2006年の秋に実施された。

この調査では、トラベル 2.0 に関連するテクノロジーとアプリケーションには、Real Simple Syndication (RSS), Tagging, blogging, mashups, mashup-enabling APIs, Rich Internet Applications (RIAs), vertical search, vlogs (video blogs), podcasting, social networking, behavioral targeting, contextual advertising を含み、それ等の用語解説は、巻末に掲載した。

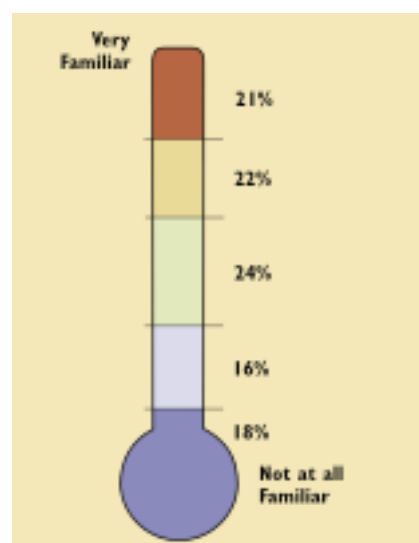
この調査で対象とした回答者達は、全てのテクノロジーを採用する計画を所有しているけれども、多くは、それ等が何故採用されつつあるのかについて確信を持っておらず、何時採用したら良いのかについて判っていない。しかし、この調査は、現在の市場に於いて、明確なビジネスの目的を有しているテクノロジーが、少しは存在する事を明らかにしている。それ等には、以下が含まれる。

- 顧客ロイヤルティを作る為のソーシャル ネットワーキング
- 収入を生み出す為の、コンテクスチャル広告と行動ターゲティング (behavioral targeting)
- 企業 Web サイトにトラフィックを呼び込む為の Real Simple Syndication (RSS)
- 顧客の権利を強化する為のブロッキングとソーシャル ネットワーキング
- Web サイトの機能向上の為のマッピング

## TRAVEL 2.0 GAINS MOMENTUM

Table 1 Familiar with Travel 2.0

Q. On a scale of 1 to 5, how familiar are you with Travel 2.0 (1 being “not at all” and 5 being “very” )



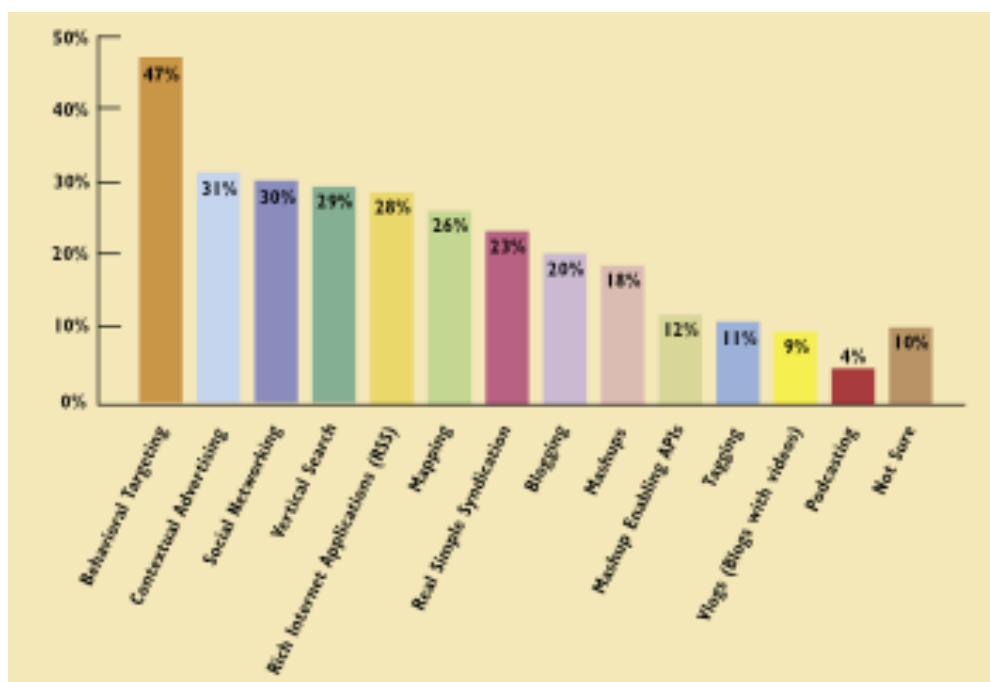
業界にトラベル 2.0 がどの程度浸透しているかを、良く反映させる為に、回答者は、テクノロジー プロバイダー (28%)、オンライン旅行社 (21%)、サーチ/メタサーチ (12%) に分散している。

回答者達は、ホテル&ロジング (30%)、GDS (17%)、エアライン (16%)、マーケティング (36%) に関連している。全回答者の 43% (very familiar 21% + familiar 22%) が、トラベル 2.0 について良く知っている と回答している。

## GOALS FOR TRAVEL 2.0

Table 2 Most Important Travel 2.0 Technologies

Q. Please indicate the three Travel 2.0 technologies you feel are most important to your organization



13 のトラベル 2.0 テクノロジーの内、認知度と採用度に於いて他をリードする、幾つかのテクノロジーが存在する。最も重要と思われる 3 つのテクノロジーを記述せよ、という設問に対して、回答者達の半分近く (47%) が、行動ターゲティングが最重要であると回答している。以下、コンテクスチャル広告 (31%)、ソーシャル ネットワーキング (30%)、パーソナル サーチ (29%)、Rich Internet Applications (28%) と続く。最も重要でないテクノロジーとしては、vlogs (ビデオを伴ったブログ) (43%)、ポッド

キャストイング（34%）、ブロッキング（25%）を挙げている。

この調査結果は、旅行プロフェッショナル達が、消費者に対するマーケティングメッセージを仕立てるのに利点を有している事に気が付いていながら、ブログやその他のコンシューマー ジェネレーテッド コンテントにまつわる do-it-yourself エトス (ethos) に対する幾ばくかの抵抗感が存在し得る事を示唆している。 1人の回答者は、消費者との双方向性の増加が、コンテンツに対するコントロールを減少させ、サイトの品質を低下させてしまうのではないかと危惧している。

トラベル 2.0 は、旅行業界で、異なる目的の為に使用されている。 幾つかの大きな目的には、収入を生み出すためとか、自社の Web サイトの機能を向上させる為が挙げられている。 しかし、一方ではミックスした目的の為に使われている。 その他のテクノロジーが、未だ理解されていないと言う問題も存在する。 ここでは、回答者は、以下の 5 つの目的の中かから、各トラベル 2.0 テクノロジーに対する最も主要な目的を挙げる事を要求される。

- ・ 顧客ロイヤルティの創造 (build consumer loyalty)
- ・ 収入の発生 (generate revenue)
- ・ 自社サイトへのトラフィックの増加 (drive traffic to company Website)
- ・ 消費者の権利の強化 (empower consumers)
- ・ サイト機能の向上 (improve site functionality)
- ・ 不明 (not sure)

**Table 3 Purpose Category Leaders**

Q. For each of the following Travel 2.0 technologies you are using or plan to use, please select the primary goal for its implementation?

Purpose	Technology
Build Customer Loyalty	Social Networking, Blogging (17%)
Generate Revenue	Contextual Advertising (38%) Behavioral Targeting (37%)
Drive Traffic to Company Website	Real Simple Syndication (20%)
Empower Customers	Bloggging (21%)
Improve Site Functionality	Mapping (35%)
Not Sure	Mashup-Enabling APIs (28%)

回答者は、収支向上（つまり収入の発生）を目的として、コンテクスチャル広告（38%）と行動ターゲティング（37%）のテクノロジーを採用している。

## **TIMELINE FOR IMPLEMENTATION**

13 のトラベル 2.0 テクノロジーの中で、何を採用したのか、或は、何時採用を計画したのかの設問に対しては、回答者達は、幅広い計画を明らかにしている。 Web サイトの機能向上に役立つとして、2004 年以前に、最も一般的に採用されたのがマッピングである。 2006 年では、顧客の権利強化のためのテクノロジーであるブロッキングの採用が、他をリードしている。

**Table 4 Most Implemented Technology by Year**

Q. For those Travel 2.0 technologies currently implemented by your organization, when did implementation begin?

Year	Most Implemented Technology
Prior to 2004	Mapping (15%)
2005	Mapping (15%) Real Simple Syndication (RSS) (15%)
2006	Blogging (19%)

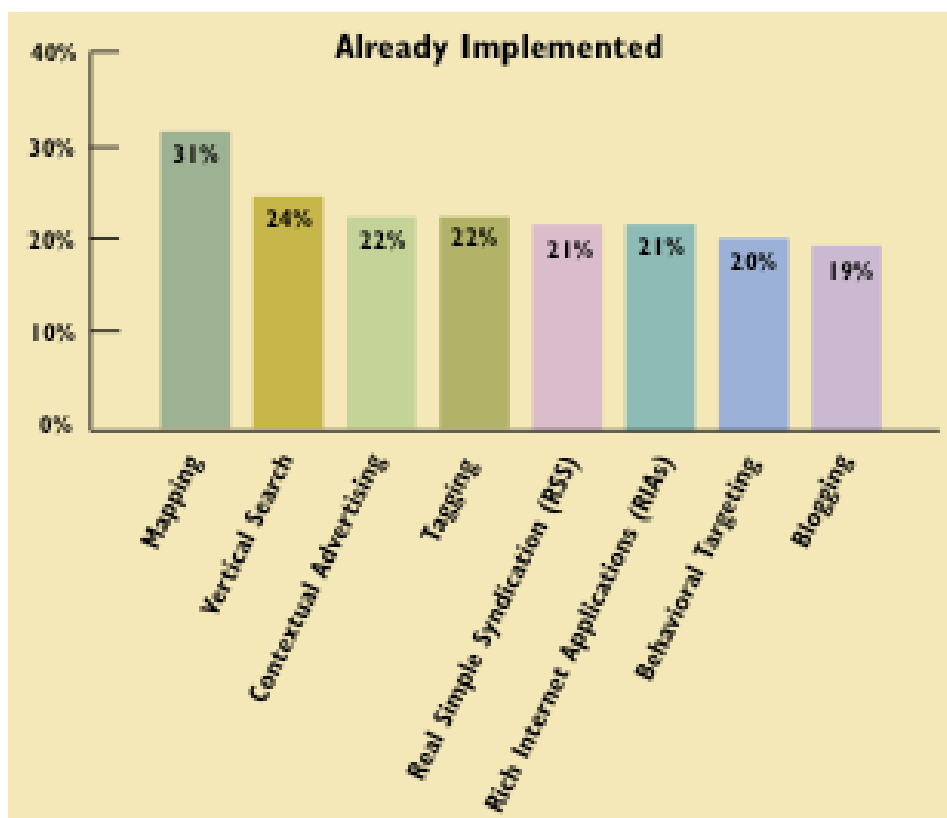
回答者は、各種のトラベル 2.0 テクノロジーを、既に採用したのか否か、採用計画を有しているか、採用を計画していないのか、についても調査された。 回答者の 1/5 あるいはそれ以上が、既に、マッピング、バーティカル・サーチ、コンテクスチャル広告、タグging、RSS、RIA、行動ターゲティング、ブロッキングを採用していると回答している。(Table 5.参照)

採用を計画していると言う幾つかのテクノロジーには、RSS、ブロッキング、ソーシャル・ネットワーキング、マッピング、行動ターゲティングが、リストのトップに含まれる。 これ等のテクノロジーは、Table 3.の“Purpose Category Leaders” にリストされているテクノロジーと一致する。 殆どのトラベル 2.0 テクノロジーの採用が増加するだろうが、採用の目的がハッキリしているこれ等のテクノロジーは、他よりは早く採用されるだろう。

また、この設問は、幾つかのテクノロジーに関して、回答者達が、何時採用するか、採用するか否かについて“判らない”と回答している様に、彼等の組織が明確な採用目的を有していない事を明らかにしている。特に理解が進んでいないテクノロジーには、mashup-enabling APIs（55% not sure）と vlog（49% not sure）がリストされている。

**Table 5 Top 8 Implementations of Travel 2.0 Technologies**

Q. When do you plan to implement each of the following Travel 2.0 Technologies?



## BUDGET

2007年のトラベル 2.0 関連予算が、2006年比で、増加、不変、減少、あるいは不明なのかの設問に対しては、行動ターゲティングを除いて、全てのテクノロジーに対して“不明”の回答がトップを占めている。(Table 6.参照) Table 3.で示した通り、行動ターゲティングは、最も収入を発生させてくれるテクノロジーと考えられているので、これに予算が付けられるのは驚くには値しない。

旅行業界の幹部達は、ポッドキャストを除いて、殆ど全てのトラベル 2.0 テクノロジーに対して、より多くの投資を計画している。行動ターゲティング (48%) に続いて、RIA (41%)、ソーシャル・ネットワーキング (39%)、ブロッキング (35%)、コンテクスチャル広告 (38%)、RSS (34%) のテクノロジーに優先的投資が計画されている。これに加えて、2006年比で、どの位多い予算が組まれたかの設問に対しては、74人の旅行幹部が、“+25%増”と回答している。

**Table 6 2007 vs. 2006 Spending**

Q. Considering your 2007 Web development budget (versus 2006), please indicate the planned change in spending on those Travel 2.0 technologies you will be implementing.



## CHALLENGES

業界は、トラベル 2.0 テクノロジーについて興味を抱いているが、どうやって取り組んだら良いのかに付いての認識に、依然として欠けている。調査は、旅行プロフェッショナル達に、トラベル 2.0 テクノロジーの導入に対してどのようなチャレンジに直面しているかに対するコメントを聴取した。これ等のチャレンジは、マジョリティーの知識に基づくモノ（60%）と、マイノリティーのリソースに基づくモノ（35%）に分かれている。

**Table 7 Challenges Facing the Travel Industry in Implementing Travel 2.0 Technologies**

Q. Please comment on the challenges you face in implementing Travel 2.0 technologies.



以下は、トラベル 2.0 テクノロジーの導入に際して、どんなチャレンジに直面しているか？の問いに対する回答者達の答えである。

- ビデオは、素晴らしいけれども、5,000 も有るビデオの中から、ハワイのバリュー有るビデオを見つけ出すのは大変だ。これは消費者に上手く対応出来ない。
- チャレンジは、既存のプラットフォームとインフラに対する適合と統合と、新テクノロジーに対するサポートのリソース。
- 複数のハウス ブランドとパートナー ブランドをサポートしなければならない。最大のチャレンジは、これ等のブランドのオーディエンス(オフライン、オンライン、オンとオフの両方に亘って、多くの異なったニーズを持っている)に対するマーケティングに適したテクノロジーを見つけ出す事だ。この様な幅広いオーディエンスをサポートする為の、最も相応しいプロジェクトを見つけ出す事は難しいに違いない。
- ROI、既存ビジネスの中断無しの統合、新たなサービスのプロモーション。



- ・ 全てを取扱う事が出来るテクノロジー会社を見つける事。
- ・ 開発タイムラインに対するテクノロジーの進歩のスピード。
- ・ これ等のテクノロジーを導入する為の、数少ない人的と財務リソースの確保。
- ・ 社内の理解。
- ・ 利用価値の高い進化したテクノロジーの採用に対する株主の理解の取得と、それを導入する際の人的リソースの確保。
- ・ テクノロジー開発の状況と、消費者が実際に求めるニーズの、遅れを取らない把握。
- ・ ユーザーが作り出すコンテンツに対する、プロダクトの弱体化とサービス デリバリーの失敗を恐れた社内の抵抗。 この抵抗は、勿論、これとは反対のケースも起こり得る事を考慮に入れていない。
- ・ スタッフの教育。
- ・ 殆どのトラベル 2.0 テクノロジーの有用な目的の発見。
- ・ コア（中核）の問題が良く整理された後であれば、トラベル 2.0 のテクノロジーは、素晴らしいアドオンとなるだろう。不幸にも、多くの旅行の会社は、取り組まなければならないコアの機能改善の、幾つかのプロジェクトを抱えている。

## CONCLUSION

トラベル 2.0 が、業界用語の域を出て、正真正銘の現象となるのは疑いない事であるが、エンドユーザーのエクスペリエンスを豊かにし、それよりももっと重要な、ROI をもたらす事が出来るかは、今暫く見極めないと良く判らない。この調査は、トラベル 2.0 テクノロジーの進化のペースは、旅行業界の、ビジネス開発のドライバーの為の、それ等のテクノロジーの採用のペースを現在上回っている事を示唆している。旅行業界のマーケティングと IT の専門家達は、トラベル 2.0 テクノロジーの採用計画を有しているが、彼等の主たる採用の障害となっているは、リソースではなくて知識の問題に有る。この知識の障害が克服され、そして、旅行業界がデジタル テクノロジーの学習カーブをキャッチアップする時になって初めて、トラベル 2.0 テクノロジーの採用が本格化されるだろう。

1 人の回答者は、「トラベル 2.0 は、メジャーなプレイヤー達が欲し様がしまいが、発生するだろう」、「それは、旅行のマーケティングを変更する巧妙な能力を既に有している」、「ビジネス旅行に際しては、今では、ホテルのマーケティングではなくて、先ず、宿泊予定のホテルのユーザー レビューを閲覧する」と語っている。もう 1 人の旅行プロフェッショナルは、「新たに生まれたテクノロジーの採用には、バランスと中庸が鍵となる」、「そこに在るトラベル 2.0 のテクノロジーの何から何迄を採用する必要は無

いが、ターゲットとされたオーディエンスとインタラクションをする為に、より大きなインパクトを有するテクノロジーにフォーカスを当てて選定するべきだ」、と語っている。

## **APPENDIX**

### **トラベル 2.0 テクノロジー 用語解説**

#### **行動ターゲティング (Behavioral Targeting) :**

ユーザーの以前の Web サーフィン行動をベースにした、特定個人を対象とした広告で、ユーザーを、彼等の個人的なオンライン行動プロファイルに直接関連したプロダクトとサービスに結び付ける。具体的な例は、Yahoo! Travel ポータル [[travel.yahoo.com](http://travel.yahoo.com)] に見る事が出来る。

#### **ブログ/ブロッキング (Blog/Blogging) :**

日記スタイルで Web コンテントを提供する“Weblog”が、短縮して Blog となった。ブログは、現在、RealTravel [[realtravel.com](http://realtravel.com)] や TravelPod [[travelpod.com](http://travelpod.com)] の如くの旅行コンテント サイトで、ユーザーが、彼等の日記形式の旅行体験を、お互いに交換する為に幅広く使われている。

#### **コンテクスチャル広告 (Contextual Advertising) :**

ユーザーが閲覧した、或は、検索エンジンで検索した、実際の Web ページ上のコンテントの相似をベースにした、ユーザーを対象にしたオンライン広告。コンテクスチャル広告は、Travelocity や Orbitz などの殆どの旅行流通 Web サイトに共通している。彼等は、提携企業の広告を、関連したコンテントのページに掲載している。

#### **マッピング (Mapping) :**

特定Webコンテントと、Webページ上の地理的な地図を結合するマッシュアップ。マッピングは、ここ数年間、オンライン旅行市場で普及しており、ホテルの位置情報と Google Mapの結合に、良くその例が見つけられる。より洗練されたマッピングの新しいバージョンとしては、最近立ち上がった Sheraton Hotels のホームページ [ [www.starwoodhotels.com/Sheraton/index.html](http://www.starwoodhotels.com/Sheraton/index.html) ] が挙げられる。そこでは、世界の

Sheratonホテルのロケーションを示すインタラクティブな地図へアクセスする事で、そこに宿泊した人達の、彼等がアップロードした写真を閲覧する事が可能になっている。

#### マッシュアップとマッシュアップ可能 API (Mashups and Mashup-Enabling APIs) :

マッシュアップとは、コンテンツを作る為に使用されたプログラミング コードの知識無しでも、1つ以上のソースからコンテンツを結合して、全く新たなサービスを作り出すアプリケーション。多くの現在のマッシュアップは、Google Maps とコンテンツとの結合に見られる。例えば、*The New York Times* Travel Section の “36 Hours in ...” マッシュアップでは、Google Map 経由で “36 Hours in ...” のストーリーのアーカイブを検索できる。より洗練されたマッシュアップの例としては、ユーザーが他の Web サイトからコンテンツを抽出し、それを、ホスト Web サイト上のユーザー自身の旅程計画ツールキットに統合出来る、Triptie [triptie.com] の “Marco Polo” 機能や、Yahoo! Travel の “Trip Planner” 機能が有る。

#### ポッドキャストिंग (Podcasting) :

携帯機器や PC でプレーバックさせる為に、RSS フィードの技術を使用して、インターネット上で、オーディオあるいはビデオプログラムの如くマルチメディアを流通させる方法。旅行関連ポッドキャストを提供している旅行 Web サイトの例としては、異なる目的地の旅行社の体験にフィーチャーした Lonely Planet [lonelyplanet.com] や、オーディオ ツアーを提供する PodTrip [podtrip.com] が存在する。

#### リアル シンプル シンディケーション (Real Simple Syndication <RSS> )

ユーザーがソース サイトを訪れる事無く、特定のコンテンツを彼等のブラウザに受け取る為の、Web サイト登録を可能にするシンプルな XML ベース システム。例としては、現在の旅行の特売を自動的に知らせてくれるフィードを、ユーザーが登録する事が出来る、Expedia [expedia.com] の RSS フィードや、目的地マーケティング オーガニゼーション Web サイトの VistLasVegas [visitlasvegas.com] が存在する。

#### リッチ インターネット アプリケーション (Rich Internet Applications <RIAs> ) :

伝統的なデスクトップのアプリケーションのフィーチャーと機能を有するが、データの塊をユーザーのデスクトップ コンピューターではなしに、アプリケーション サーバーに蓄えるアプリケーション。例として、AJAX ベース (Java and XML) RIA が、Kayak [kayak.com] で使われている。この機能は、ユーザーが最初の数文字を入力しただけで、潜在的な到着/出発空港のリストを自動的に生み出す事が出来る、インテリジェントな “auto-complete” 機能を有している。

### ソーシャル・ネットワーキング (Social Networking) :

シェアした興味あるいは属性 (shared interests or attribute) をベースにして、旅行者若しくはこれから旅行者となる人達にたいして、お互いがネットワークする事を可能にする、オンライン ユーザー間の関係の連続。 オンライン旅行市場に於けるソーシャルネットワーキングの例としては、ユーザーが、彼等の旅行体験や興味の詳細のプロファイルをアップロードして、アドバイズや話をシェアする (一緒に計画迄してしまう) 為に、その他のユーザーとネットワークする事が出来る Tripmates [tripmates.com] や Gusto [gusto.com] が挙げられる。

### タグ/タギング (Tags/Tagging) :

後で同一のリソースを容易に見つけ出しアクセスする事が出来る様に、Web ページ、写真、あるいはビデオの如くの Web リソースに注釈を付ける為に使われるユーザーが特定したキーワードないしはその他のキーワード。 旅行サイトで現在タギングを導入しているのは、ビデオ コンテント サイトの Travelistic [travelistic.com] や、写真のシェアリング サイトの Flickr [flickr.com] の旅行セクションが存在する。 そこでは、ユーザーは、タギングして、ユーザーがアップロードしたコンテンツを、迅速にラベルし、格納し、検索し、選り分け、シェアする事が出来る。

### バーティカル検索 (Vertical Search) :

特定な業界或はニッチをフォーカスした高度に専門化した検索エンジン。 旅行業界に於ける例としては、Web に亘って、ホテル、エアー、レンタカー、旅行コンテンツに関する旅行特定検索を提供する、Kayak [kayak.com] や SideStep [sidestep.com] が存在する。

### ブイログ (vlog <video blog> ) :

通常は、反時系列の順序で表示する、ビデオ フォーマットのブログ。 欧州 3 ヶ月間バックパック旅行を詳述した EndlessEurope [endlesseurope.com] は、vlog に特化した初めての旅行 Web サイトである。



## 6. 其の他のニュース

### 旅行流通 & TD

#### (1) エクスペディア、第2四半期決算 利益フラット

Expedia Inc.の第2四半期の利益は、前年同期比 +0.7%増益の\$96.1m (115 億円) となった。収入は、+15.3%増の\$689.9m (827 億円) であった。収入は、北米に於ける航空会社と GDS からのコンペンセーションの低下により、影響を受けている。航空券1枚当たりの収入は▲19%低下した。(DTW, 8/2/2007)

単位：Million \$

		2Q'07	2Q'06	差異
グロス予約		5,224.2	4,564.8	+14%
収入		689.9	598.5	+15%
利益		96.1	95.5	+1%
Q 予約	北米	3,723	3,445	+8%
	欧州	1,035	752	+38%
	その他	466	368	+27%
Q 予約	Expedia.com	4,130	3,614	+14%
	Hotels.com	696	621	+12%
	その他	399	330	+21%

#### (2) デルタ航空、コンテンツプログラム不参加旅行社から手数料徴収

DL は、8月1日から、GDS オプションコンテンツプログラムに不参加の Sabre, Galileo, Worldspan 旅行社に対して、セグメント当たり \$3.50 のコストリカバリー手数料を徴収する。しかし、殆どの旅行社がオプションプログラムに参加しているため、この手数料の対象となる旅行社は、少ないと予想されている。DL は、Amadeus 旅行社に対しては、コストリカバリー手数料を徴収しない。DL と Amadeus 間で暫定的な合意が出来ている事と、Amadeus が、同社のサブスライバー旅行社に対してコストリカバリーを補填する方策をとっている為だ。

航空会社は、優先チャネル経由の予約に対しては、少ない GDS 手数料の支払で済む。コストリカバリー手数料の徴収とコンテンツの制限の脅しによって、優先チャネルに参加した旅行社は、GDS からのインセンティブの減少を余儀なくされている。(DTW, 8/3/2007)

### (3) 中国が、インバウンド旅客数 新記録達成まじか

2007 年上半期の中国インバウンド旅客数が、前年同期を +18% 上回る 1,200 万人となった。このトレンドが継続すると、今年中国インバウンド旅客数は、昨年の 2,200 万人を超過して、最高記録を達成するだろう。2008 年には北京オリンピック、2010 年には上海万博が予定されており、中国のインバウンド旅客数は、まだまだ増加して行くだろう。WTO は、2014 年には、中国はフランスを抜いて世界一の外客誘致国となると予想している。China National Tourism Administration によると、上半期の、インバウンド旅客の中国（香港とマカオを除く）で落とす金は、+13.1% 増加して \$18bn (2,150 億円) となった。中国政府は、2008 年 8 月 8 日から 24 日の北京オリンピック期間中、500,000 人の外国からの訪問客が中国を訪れると予測している。(channelnewsasia.com, 8/5/2007)

### (4) ホテル宿泊税未納訴訟、裁判所オーディット要求

LAX 高等裁判所は、オンライン旅行社 15 社を相手取って起こされた、ホテル宿泊税未納訴訟の裁判で、原告の LAX と San Diego の税務所に対して、徴税努力やオーディット等の行政としての当然の行為の実施を要求し、それが実行される迄の間、裁判の進行を一時中止する決定を行った。その他の都市の同様の裁判に於いても、LAX の動きと軌を一にした、オンライン旅行社側にとっては好ましい動きが出ている。

LAX と San Diego の税務所は、未納税額の評価を含めた、行政の徴税プロセスを開始すると言っている。多くの地方の税務署は、ホテルの仕入れネット料金と小売料金間の差額分に対するホテル宿泊税を未納しているとして、オンライン旅行社を訴えている。オンライン旅行社は、自分達はホテルの代理人ではなくて単なる仲介業者であるので、ネットと小売価格の差分に対する納税義務は、発生しないと主張している。(DTW, 8/8/2007)

### (5) プライスライン、第 2 四半期 増益 176.2%

Priceline.com の純益が、欧州のホテル ビジネスの大幅な成長と、米国に於けるマーチャント・ホテルとレンタカーの成長 (organic growth) に支えられて、176.2% 増益して \$34.6m (41 億円) となった。グロス旅行予約は、+33% 増の \$1.2bn (1,440 億円) であった。欧州のホテル ビジネスである Booking.com のグロス予約は +93% 増加して、\$687.1m (825 億円) となった。(DTW, 8/8/2007)

Priceline.com が、Lexyl Travel Technology (San Diego) と提携して、10 室以上のオンライン ホテル客室グループ予約機能 FindGroupDeals.com を立ち上げた。このグループ予約サイトは、最低保証レート システムを導入する。この他に、Priceline.com は、1

回のトランザクションでオンライン予約出来るホテル客室数を、4室から9室に増加させた。(DTW, 8/9/2007)

#### (6) アマデウスとセーバー、自動支払プロセッシング立ち上げ

アマデウスとセーバーは、ホテル・クルーズ・ツアー・レンタカー・鉄道のサプライヤーの為の自動支払プロセッシングと、クリアリング・ハウスと、照合 (reconciliation) の為のソリューションを共同して立ち上げた。両社は、欧州委員会に対して、このジョイントベンチャーの承認を求める。(米国では Amadeus のシェアが小さいために、司法省への申請は必要とされない。) 欧州委員会への申請は、第3四半期に承認されると期待されており、運用開始は、9月からが予定されている。このソリューションは、マルチ GDS のシステムで、全ての流通チャネルをカバーする。そして、コミッション支払と照合を含む支払プロセッシングの自動化の、サプライヤーのバックオフィスニーズに焦点を当てている。詳細は、欧州委員会の承認後に発表される事になるが、高いクレジット・カードの手数料を回避する、代替支払手段となる事が期待されている。アマデウスとセーバーが協業するのは、ここ数年間で、これが2番目となる。以前に、一方が航空会社のインベントリーを削除された場合、他方がそのインベントリーを供給する相互融通協定を2社間で締結した。(この協定は既に失効している。)(DTW, 8/8/2007)

## 空 運

#### (1) 英国航空、第1四半期決算 +75%増益

BA の第1四半期決算が、+75%増益して、£269m (645 億円) となった。これは、Reuters Estimates 投票の4人のアナリストの予想 £206-£237 を、大きく上回った。BA は、増益の理由として、少ない退職金と年金コストに加え、好ましい税率を挙げている。収入は、▲2.4%減少して £2.19bn (5,256 億円) となった。収入の減少は、LHR 空港に於けるセキュリティー強化と手荷物のトラブルによる、トランジット旅客の他空港転移とドル安が影響した。RPK は、▲1.9%減少した。イールドは不変であった。BA は、年間収入見通しを、▲1%ポイント減少させて +4%に変更した。燃料コストは、今年、以前の予想よりも £20m も多い、+£120m (288 億円) 増加するとしている。運賃談合に関する罰金について、BA は既に £350m (840 億円) の引当金を準備している。今回の英 OFC と米 DOJ からの罰金(合計およそ £270m) を差し引くと、この引当金の残金は £80m となるが、これは EU 及びその他の国の競争当局からの罰金の為に使われる。(FT.com, 8/3/2007)

## (2) 大韓航空 第2四半期決算で赤字計上

KEが、第2四半期決算で、▲214.4bn ウオン（278億円）の赤字を計上した。この決算には、運賃談合に関する米DOJの罰金\$300m（360億円）が計上されている。アナリストは、一時的なこの特別経費の支払を除けば、堅調な需要の増加に支えられて、KEは、力強い四半期の業績を達成し、これからもシカッリした結果を残せるだろうと予想している。(wsj.com, 8/3/2007)

単位：百万ウオン

	2Q'07	前年比	1stHLF'07	前年比
収入	2,107	+8.9%	4,138	+9.8%
営業利益	75.4	+9.3%	226.8	+42%
利益	▲214.4	+14.9	▲83.6	+142.2

## (3) BAAの分割必要、英競争審査局ヒアリングで

英国の空港の劣悪な品質と高い料金を懸念して、Office of Fair Tradingは、3月に、Competition Commissionに対して、英国の7空港を運営するBAAの審査を要求した。これを踏まえて、Competition Commissionは、審査の大枠を来週にも発表する。既に、BA, VS, AAは、Competition Commissionに対してBAAの独占緩和を要求している。潜在的な解決策の中には、BAAの分割のオプションも含まれるかも知れない。BAAは、Scottish Marketを独占し、ロンドン空港を利用する旅客の92%が、BAAが運営するLHR, LGW, STNを利用している。BA CEO Willy Walshは、8月3日、LHRのスタンダードは受け入れる事が出来ないレベルに迄低下しているとし、より多くのスタッフと機器への投資をさせるべきだと批判した。BAAは、既に+550人のセキュリティースタッフの増員と、セキュリティーレーンの+25%増加を実施していると反論した。昨年、BAAを£10.3bn（2兆4,700億円）で買収したスペインのFerrovialは、LON 3空港は既に他のグローバルなハブ空港と熾烈な競争をしている事を理由に挙げて、分割案に反対している。(FT.com, 8/3/2007)

BAAが運営する英国7空港の7月実績は、旅客数15.1百万人となった。これは今迄の最高記録。しかしLHR空港は、▲1.7%と再び利用旅客数が低下した。機内持ち込み手荷物が1個に規制される厳格なセキュリティー規則と受託手荷物トラブル等が影響して、旅客は、LHRから他空港利用へシフトしている。2006年8月から2007年7月までの1年間のLHR利用旅客数は66.8百万人で、▲1.6%低下した。BAAのオーナーであるスペインのFerrovialは、LHRは収容能力の限界に達しているため、キャパシティを拡大するまで、利用旅客数は増加しないと断言している。しかし、1バグドルールも、この旅客数の減少に影響しているのだろう。(FT.com, 8/8/2007)



#### (4) バージン アトランティック、運賃談合で補償金

米司法省から条件付き特赦 (conditional amnesty) を得ていた VS 航空は、この情状酌量の 6 つの条件の内の 1 つとして、談合被害者に対して補償金 (restitution fee) の支払を余儀なくされる。 LH は、既に \$85m (100 億円) の補償金の支払に合意している。(現在、裁判所の承認待ち。) しかし、VS は、8 月 2 日、何人もこの談合でオーバーチャージされていないのだから、この補償金の支払には応じられないとコメントしている。そんな事は許されないだろう。(DTW, 8/3/2007)

#### (5) ニュージーランド、ドバイの空港買収に反対

ドバイの Auckland International Airport の支配株買収は、政権党の労働党が反対を表明し、政治問題化の様相を呈して来た。先月、ドバイ国営企業である Dubai Aerospace Enterprise は、AIA の 51% を、NZ\$2.6bn (2,385 億円) で買収する事に合意した。この価格は、買収話が持ち上がる以前の 5 月 5 日の株価に対して、+55.9% のプレミアムを付けた価格。買収反対は、パブリック インテレストの為とされているが、背景には、“中東企業” に対するセンシビリティが存在していると言われている。ドバイは、先の P&O (英コンテナ ターミナルとフェリー運営企業) 買収に際して、同様のセンシビリティにより、米政府より米港湾 5 港の運営権の放棄を余儀なくされている。(FT.com, 8/6/2007)

#### (6) ライアン航空スペイン基地倍増

欧州 8 カ国に 20 基地を展開している Ryanair が、スペインの Valencia と Alicante に新たな基地を開設する。英国とドイツに次いでスペイン市場が、LCC の主戦場となりつつある。Ryanair は、既に BCN-Girona 基地に 9 機を駐機させ、49 路線を展開、昨年 11 月末には、MAD 基地に 5 機駐機させて 15 路線を開設した。そして、スペイン路線で、900 万人の旅客の獲得を計画している。ライバルの easyJet は、MAD Barajas 空港の滑走路が 4 本に倍増され、第 4 空港ターミナルが供用開始となった 2 月に、スペインで最初の基地を開設した。競争の激化は、3 年前に設立されたスペインの新興 LCC Vueling の、今年 1 月～6 月の上半期決算を、▲E33.7m (54 億円) の赤字計上に追い込んだ。(前年同期は▲E6.5m ≒ 10.4 億円であった。) 昨年 12 月に上場した Vueling の株価は、▲30% 下落して E15.80 を付けている。Vueling は、MAD に於いて、IB の LCC 子会社 Clickair と SAS の子会社 Spanair (売却にかけられている) から、激しい低運賃競争を仕掛けられていると言っている。(FT.com, 8/5/2007)

Ryanair CEO Michael O'Leary は、伊航空当局が AZ 保護の為に、ローマの小空港 Ciampino の乗入れ便数をカットしていると批判した。ENAC は、最近、Ciampino の発着スロ

ットを 11 月から、毎日 138 回から 100 回に減少すると発表した。 その為、幾つかの LCC 便は、Fiumicino 空港への移動を余儀なくされる。 ENAC は、空港周辺住民の騒音と公害の苦情への対応の為の措置であると説明している。(FT.com, 8/8/2007)

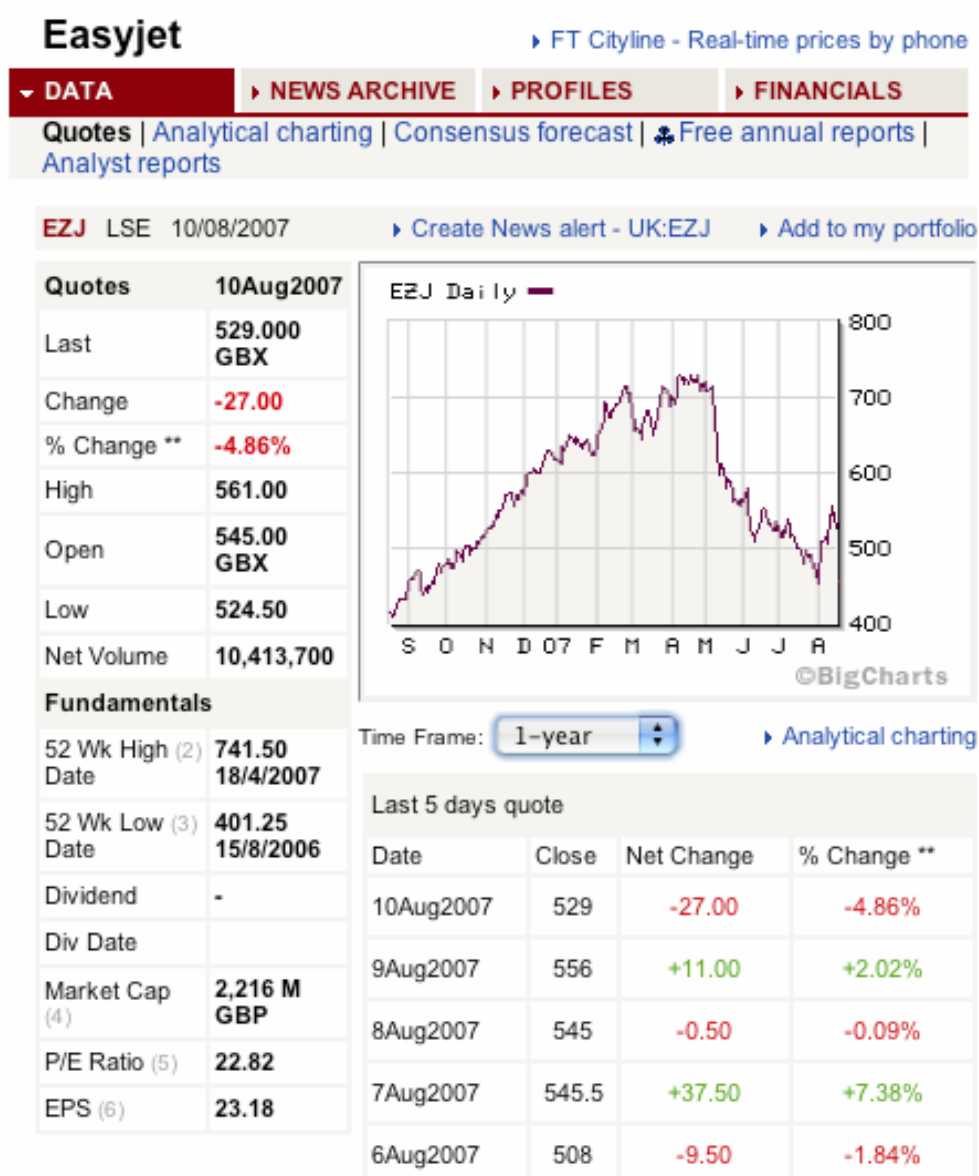


#### (7) アメリカン航空、来年より機内ブロードバンド サービス開始

AA が、AirCell と契約して、米航空会社で初めて機内ブロードバンド サービスを、米国内線で提供する。 AA の旅客は、機内の携帯機器やラップトップ PC からインターネットへの接続が可能になる。 2008 年からテストが開始される。 料金は、未だ決定されていない。 AA は、音声通信サービスを提供しない。(DTW, 8/5/2007)

(8) イージージェット 年度利益見通し +40%〜+40%増益

第3四半期のイールドが減少したにも拘らず、easyJetは、9月30日に終了する年度決算の、前回の利益見通しである+40%〜+50%の増益を維持する。第3四半期の座席当たり総収入は、£41.46（9,950円）と前年同期比▲8%減少した。旅客数は+13%となった結果、収入は+5.7%の£486.5m（1,168億円）となった。燃料費を除いた単位コストは、ポンド高により▲10%減少した。（FT.com, 8/7/2007）



### (9) 全席ビジネスのイーオス、\$700 コミッション支払

NYC(JFK)=LON(STN) 週 32 便 (B757 型機 48 席、20sq ft) を運営している Eos が、\$700 ドルのコミッションを、旅行社に支払う。このコミッションは、NYC 若しくは LON の接続便運賃の支払に適用され、(Eos は、他社とインターライニング契約を結んでいない)、残った金は、旅行社が貰えるという仕組みで、これは、9 月 15 日迄の販売に限定した、Eos 便のプロモーション施策。NYC=LON の運賃は、特別往復運賃 \$2,499 (30 万円) から、一般的な公示運賃は \$3,700~\$7,800 (44.4 万円~93.5 万円) で販売されている。Eos は、5 機目の B757 型機を受領次第、LON 線を週 40 便に増便する。(DTW, 8/6/2007)

### (10) ニューヨーク州、旅客権利規定を導入

NYC 州は、先週、来年 1 月から施行する、The Airline Passengers Bill of Rights 州法を制定した。これにより、航空会社は、ゲートを離れた後長時間離陸待機する場合は、機内の旅客に対する新鮮な空気、飲料とスナックの提供と、トイレのタンクの清掃を義務づけられる。これに対して、航空業界は、法的チャレンジを検討している。(nytimes.com, 8/7/2007)

### (11) キャセー航空、上半期利益 +55%増益

CX は、8 月 3 日、上半期の利益が、特に北米と欧州の長距離路線の堅調な旅客需要増とより高い平均運賃 (プレミアム クラスが好調) により、前年に比して +55%増益し H\$ 2.58bn (387 億円) になったと発表した。CX は、8 月 2 日、B777-300ER 型機×5 機を購入すると発表した。この追加導入機を含めると、同社の発注機数の総計は、長距離機×23 機となる。内×5 機は、今年下半期に導入され、北米線に割り当てられる。HKG=SFO、HKG=NYC 線直行便が倍増となる他、カナダ、豪州、日本路線の供給が拡大される。(wsj.com, 8/8/2007)

	1 <sup>st</sup> Half '07	前同期比	備考
収入	H\$ 34.63bn	27.04	
利益	H\$ 2.58bn	1.07	アナリスト予想 2.2bn を上回る
RPK	6.67bn	+11%	昨年 9 月買収 Dragon Airlines 効果
イールド	H¢ 50.8	45.8	Dragon 除き、北米+14%、欧州+15%
貨物	75.7 万吨	▲0.4%	来年 B747-400F×6 機受領
燃料	H\$ 10.55bn	+22%	

## (12) マレーシア FAX、2008 年に 黒字転換 1 年早まる

長距離バジェット航空会社 AirAsiaX を立ち上げたマレーシアの Fly Asian Express Sdn. Bhd. (FAX) は、今年 9 月末若しくは 10 月初めに営業を開始して、2008 年には黒字を計上すると、共同所有者の Tony Fernandes が語った。(以前の説明では、2009 年の黒字計上。) FAX は、AirAsia の創業者で CEO の Fernandes と、副 CEO である Kamarudin Meranun, Kalimullah Hassan, Lim Kaian Onn によって全てを所有されている。最初の路線は豪州線となるだろう。そして、機材の導入状況にもよるが、2008 年中に、中国、インド、日本、韓国の全てに路線展開すると Fernandes は言っている。FAX は、資本や社債による資金調達を必要とせず、強力なキャッシュフローと長期借入金のみにより AirAsiaX を立ち上げる。同社は長距離機の A330-300 型機×15 機を発注している。(wsj.com, 8/8/2007)

Virgin Group は、AirAsiaX 株の 20% を \$6.9m (8.3 億円) で買収する。Virgin は、英国と豪州に於ける AirAsiaX のトラフィックをハンドリングする。AirAsiaX は、太平洋線運営の為に Air Canada と提携する模様。

SQ は、Virgin Atlantic 株の売却を検討しており、Virgin Group の AirAsiaX 提携は、SQ に代るアジアからの長距離路線に於ける戦略的パートナーとなる可能性を秘めている。(FT.com, 8/10/2007)

Sir Richard Branson opened a fresh foray into Asia as his Virgin Group took a stake in AirAsia X, a budget airline run by former Virgin Music accountant Tony Fernandes.



## (13) シルバージェット、チャーター部門閉鎖

大西洋線全席ビジネス・クラスの Silverjet (英) が、子会社のチャーター会社 Flyjet がリースしている B757 型機×2 機の 10 月以降の更新を取り止める。チャーター部門の閉鎖により、Silverjet は、▲£3.5m (8.4 億円) の欠損の発生を余儀なくさせられる。同社は、2 週間前に、NYC 線の 2 便目の毎日便の就航を 9 月に延長したばかり。4 月時点で 200p した株価は、83p まで下落している。B757 型機×2 機は、Thomas Cook, MyTravel, Excel などのツアオペがチャーターしているが、パッケージ・ホリデーの低迷により、チャーター事業のリターンが縮小している。コア・ビジネスの大西洋線全席ビジネス・クラス便は、7 月の L/F 実績 76% を達成しており、順調に運営されているので、大幅に下落した株価は、一部の投資家にとっては魅力的なモノとなっているかも知れない。アナリストは、2010 年迄は、黒字計上が難しいと言っている。(FT.com, 8/8/2007)

#### (14) AF/KLM 増益 +70% 第1四半期決算

AF/KLM は、第1四半期の決算で、前年同期を+70%上回る E415m（664 億円）の利益を達成した。この利益には、Servair ケータリング部門の売却（E40m）と、Amadeus 株売却（E82m）が含まれている。この利益は、Dow Jones Newswire のアナリスト予想 E311.7 を大幅に上回った。収入は、+2.5%増の E5.95bn（9,500 億円）であった。営業利益は、旅客部門の E396m に対して、貨物部門は▲E17m であった。(wsj.com, 8/10/2007)

#### (15) 英競争当局、バジェット航空会社の運賃表示の変更を要求

競争監視当局の英国 Office of Fair Trading は、Ryanair, Aer Lingus, easyJet を含む 13 航空会社に対して、税金やその他の手数料を全て含めた運賃表示の実施を要求した。13 社は、基本運賃のみの額を、Web サイトやその他の広告媒体に表示していた。例えば、英国とバルセロナ間の運賃は、£19.99 と宣伝されているが、税金や手数料全てを加えると、運賃総額は倍以上に膨れ上がってしまう。(FT.com, 8/10/2007)

#### (16) ノースウエスト航空、ミッドウエスト買収に参加か

Midwest 航空に対して \$380m（455 億円）に上る敵対的買収を仕掛けている AirTran Holdings は、買収が成功しない場合、オファーの期限（8月12日 GMT 4:00am）を延長するか否かについて、8月13日迄に決定すると発表した。AirTran は、8月10日までに、総発行株式の63%の株主から、株式の売却許諾を得たと言っている。一方、新たな動きとして、NW が、Midwest 買収に消極的に参加する事を検討している。既に、コードシェア、FFP プログラム相互交換などの幅広い提携を Midwest と行っている NW は、この提携の維持の為に、第三者の買収希望者（Midwest は、現在4社の買収希望社と協議中）のオファーに参加する模様。(wsj.com, 8/10/2007)

#### (17) B787 型機、初飛行 9月末から10月初めに延期

8月9日付けの SEA 地元紙は、ボーイングが B787 型機の初飛行を、9月末から10月初めに延期したと報じている。重要なフライト コントロール システムとソフトウェアの調整に、より多くの時間が必要になっているらしい。B787 型機の初号機は、来年5月に全日空にデリバリーされる予定であるが、タダでさえスケジュールがタイトになっている上の今回の初飛行延期は、“本当に間に合うのか？”という懸念を業界内に更に広めている。(channelnewsasia.com, 8/11/2007)

## 水 運

### (1) 中国需要で、海運コスト上昇

バルク コモディティーの世界的なブームが、全てのこれ等の原料を、特に産業パワーハウスの中国に運ぶ船舶の需要に火をつけている。石炭・鉱石・穀類等のバルク コモディティーの海運コストが、力強い需要、港湾混雑、貿易ルートの長距離化によって、最高値を塗り替えられている。世界のドライ・バルク海運コストの指標である **Baltic Dry Index** は、先週、初めて7,000ポイント（前年比103%増）を突破した。8月3日の **Index** は7,007で、2000年比で略5倍のレベルとなっている。貿易ルートの長距離化（中国は、鉄鉱石8,000万屯をブラジルから輸入）と、港湾の混雑（世界最大の石炭積み出し港の **Newcastle**<豪>では積載4週間待ち）が、利用可能な船舶の不足に拍車をかけている。中国は、今年、石炭のネット輸入国に転じるだろう。そして、何処の国よりも多く鉄鉱石を輸入している。**Panamax** 級船舶の1日当たりの傭船コストは、1年前の\$25,400から2倍以上の\$58,500に跳ね上がっている。2005年は、\$10,000しかしなかった。海運会社は、バルク貨物船の発注を増加させている。韓国・中国・日本のアジアの主要な造船所のドックは、2010～2011年迄予約で満杯となっている。ドライ・バルク海運コストは、当面下がらない。(FT.com, 8/5/2007)

### (2) インマルサット（英）上半期収益新記録達成

世界的な海運ブームが、**Inmarsat** の衛星通信機器の売上を増加させている。一定の屯数以上の船舶には、衛星経由の電話・Fax・インターネット通信の装備が、国際法によって義務づけられている。**Inmarsat**（英）は、この衛星テクノロジーを提供している。同社の上半期の海運ビジネス収入は、+12%増加して\$158.3m（190億円）となった。航空会社の機内ブロードバンド接続も、この収入増を後押ししている。**Ryanair**, **Emirates**, **AirAsia** は、最近、この衛星通信テクノロジーを採用した。**AF** も、今年末迄には導入するだろう。**Inmarsat** の航空ビジネスは、+45%近くも増加して\$20.8m（25億円）に達した。総収入は+15.6%増の\$284.2m（341億円）、税前利益は+63.7%増の\$77.9m（93億円）となった。(FT.com, 8/8/2007)

## 陸運 & ロジスティックス

### (1) 中国製小型トラック タイヤ 25.5 万本リコール

欠陥タイヤが原因の横転事故で、2 名が死亡した。 ニュージャージー州のタイヤ輸入業者 Foreign Tire Sales は、2004 年～2006 年に輸入した中国製タイヤ (Westlake, Compass, YKS ブランド) 25.5 万本を回収する。(nytimes.com, 8/10/2007)



Workers at a Chinese rubber company inspected tires after a United States importer blamed it for defects leading to two deaths.

### (2) 中国郵便市場ルールの 透明化が求められている

中国政府は、年間 \$6bn (7,200 億円) 市場である中国のエクスプレス デリバリー市場 (2008 年には \$7.4bn ≒ 8,900 億円と予測されている) のルールの透明化を促進させる必要があると、UPS やその他のパッケージ デリバリー企業が批判している。 中国郵便法は、1986 年に制定以来、9 回改正されている。 中国が、海外からの市場参入企業に対して、4%の“ユニバーサル タックス”を導入するのではないかと懸念されている。

また、China Post のエクスプレス デリバリー企業のみ、150g 以下の郵便物の取扱わせる規則が検討されている。 UPS は、中国向けの 2kg 以下の小包を受け付けていない。 UPS は、中国の WTO 市場開放合意に従って、2005 年に、\$100m (120 億円) で Sinotrans を買収し、世界 4 大国際クーリエ社の何処よりも早く、中国で完全子会社によるデリバリー事業を開始した。 この会社 (従業員 4,500 人) は、現在、上海に国際ハブを建設



中である。(FT.com, 8/5/2007)

(3) ダラースイフティー減益、エービス黒字復帰、第2四半期決算

		2Q'07	Vs. '06	備考
Dollar Thrifty	収入	\$451.6m	+6.9%	
	利益	15.3m	▲43%	本社スタッフ▲25%削減する
Avis Budget	収入	\$1.5bn	+4%	+73 店増加、更に+74 店増加中
	利益	\$24m	▲1.05m	

(DTW, 8/8/2007)

ホテル & リゾート

(1) スターウッド 第2四半期決算 収入 +4.5%増

Starwood Hotels & Resorts Worldwide の第2四半期決算は、収入が +4.5%増の \$1.57bn (1,885 億円)、利益が▲80%減の \$145m (174 億円) であった。 昨年の第2四半期決算には、33 ホテルの売却益 \$511m が含まれている。 RevPAR は、国際プロパティへの貢献も有り、+13.1%上昇した。 タイムシェア販売は、+40%増加して \$268m (321 億円) の売上となった。 現在、105,000 室が建設中で、その内の 70%以上が上級豪華ホテルのカテゴリーのホテル。 この半分が北米に建設中。(DTW, 8/1/2007)

(2) ウィンダム 第2四半期決算 増益 +28%達成

Wyndham Worldwide Corp.は、第2四半期決算で、増益+28%となる純益 \$96m (115 億円) を達成した。 Cendant からスピノフした後の1年間で、3つの事業部門全てで好業績を達成した。 特にバケーション オーナーシップが好調。(DTW, 8/1/2007)

	2Q '07	前年比	備考
収 入	\$1.16bn	+15%	
(Vacation ownership)	(629m)	(+21%)	
(Wyndham Hotel Group)	(166m)	(+6%)	ロジック ユニット
(Group RCI)	(288m)	(+10%)	バケーション エクスチェンジ
利 益	96m	+28%	

### (3) 英政府、非登録オンライン カジノの英国内広告禁止

英国 Department Culture, Media and Sports は、無秩序な海外賭博サイトの英国顧客に対する広告を禁止する。 9月から施行される新規則は、英国、欧州大陸、その他の“ホワイトリスト”地域のサイトの、英国内に於けるTVとラジオと印刷媒体の広告のみを許可する。 ホワイトリスト地域の指定を受ける為には、各国は、英国に対して、シッカリした賭博規制を有している事を証明し、その旨を申請しなければならない。 PartyGaming, 888, Ladbrokes などの殆どの大手オンライン賭博サイトはマン島、Alderney、ジブラルタルに本社を置く企業で、既に英国の規制に合致している。 英国政府は、現在、世界最大のオンライン賭博企業が存在する Antigua (500以上のライセンスが存在)と、Kahanawake Canadian Reservation (400ライセンス)の申請を検討中である。 もう1つの大きな賭博センターである Costa Rica と Belize は、申請していない。 オランダ領 Antilles と Tasmania は、申請を拒否された。 William Hill Casino, Betfred Casino, Poker, Interpoker.com, Littlewoodscasino.com は、英国で広告を打ちたければ、彼等のライセンスを、ホワイトリストの国に移動しなければならなくなる。 世界には、およそ2,300のオンライン賭博サイトが存在する。(FT.com, 8/10/2007)

### (4) ハラーズ、増益+85%達成

世界最大のカジノ企業 Harrah's Entertainment Inc.は、第2四半期決算で、増益 +85%を達成した。 LAS と Pennsylvania のレース・トラック カジノの増収が、Atlantic City の低迷を相殺している。 Atlantic City のビジネスは、NYC と Pennsylvania の新たなスロット・パーラーの開業で競争が激化した上に、4月15日からの New Jersey 州の禁煙規則の導入で、打撃を受けている。 Harrah's では、現在、Apollo Management Group と Texas Pacific Group による \$17.1bn (2兆500億円)の買収手続きが進行中。(nytimes.com, 8/7/2007)

	2Q'07	Vs '06	備考
収入	\$2.7bn	+14%	
(LAS)	922.5m	+14.8%	営利益 +13.9%、Caesars place, Bally's, Rio 保有
(Atlantic City)	592.6m	+13.7%	営業利益▲37.8%
利益	237.5m	+85%	

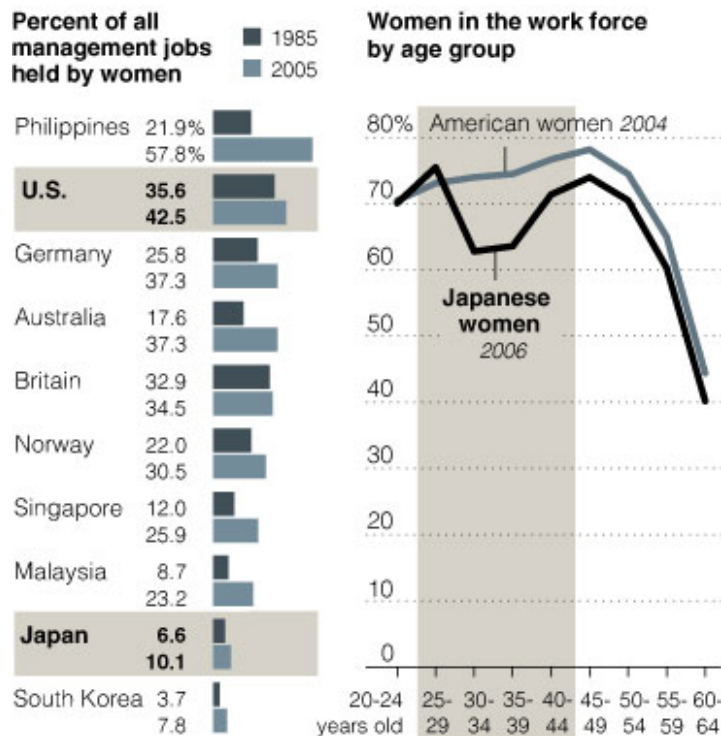
その他

(1) 日本女性の企業に於ける昇進差別が解消されていない

1985年に男女雇用均等法が制定されて以来、日本企業に於ける女性の待遇がチットも改善されていない。ILOの調査によると、日本女性の就業者(2,700万人)は、全体の就労者数の略半分を構成しているながら、管理職昇進者は、その10.1%にしか達していない。米国では、42.5%が、管理職位に就いている。企業に於ける長時間勤務の悪しき習慣、均等法の罰則規定の欠落、裁判を好まない文化、男尊女卑の風潮などがこの原因。国連開発プログラムの“gender empowerment measure”(女性の、その国の経済と政治への関与の度合いを示すインデックス)によれば、日本のそれは、富める国の中で最低に位置されている。2006年の75ヶ国調査では、日本は、マケドニアに次いで42番目にランクされている。(米国は12番目。)日本では、男女不平等が少子化をもたらしている。人口減少が、事態を改善する鍵となるかも知れない。(nytimes.com, 8/6/2007)

Women in the Work Force

More than 20 years after Japan passed an equal opportunity law, Japanese women have made little progress in management.



Source: International Labor Organization; Japan Statistics Bureau

## (2) 中国マクドナルド、企業イメージ改善に努力

中国マクドナルドが、企業イメージの改善に努力している。

ライバル企業の KFC と Pizza Hut チェーンを運営している Yum Brands Inc と共に、広東省でパートの最低賃金（時給 7.50 人民元≒120 円）を守っていないと全中国労働組合連合に批判されたのが、このイメージ改善に着手した原因。

中国マックは、店のフロントラインの従業員の賃金を、+30% 賃上げする。（広東省のフルタイム従業員の月給は、+21% 増加して 1,072 人民元≒17,000 円となる。） 中国マックの従業員は、現在、その 80% が組合員となっているが、今年末迄に 100% の組合員化を予定している。（wsj.com, 8/7/2007）

### Golden Arches in China

- 815 restaurants** currently, with plans for 100 new restaurants a year
- 50,000** crew workers employed
- 1990**, first restaurant opens in Shenzhen
- 2%** of company's global revenue generated in China
- Olympic** sponsor
- 80,000 to 120,000** new uniforms will be issued this year
- Runs 46** food-processing plants

Source: the company



Bloomberg News/Landov

## 編集後記

今週号は、“イノベーション特集号”と言って良いくらい、イノバティブな事の記事が多かった。

旅行流通業界に於ける“トラベル 2.0”の世界では、つい数年前迄は、全く聞いた事が無い新しいテクノロジーの言葉が氾濫している。 Web 2.0 の旅行流通への適用を総称してトラベル 2.0 と言っている様だが、これは、要すれば、オンライン旅行サイトに於いて、ユーザー参加型のインタラクティブな環境を、一層強化する事を意味しているのだろう。

アラスカ航空が、アンカレッジの空港で、空港革命を起こしている。 鉄道の改札が無人化された様に、空港のチェックインカウンターの無人化が進んでいる様だ。 この無人化には、チケットレスと オンライン チェックインの普及が大きく貢献している。 チェックインの自動化の大きな障害となっていた受託手荷物については、バッグドロップ ステーションを設置して、1 人のエージェントによる 2 旅客レーンの処理を可能にしていると言う。

運航開始を 17 ヶ月間も待たされた Virgin America は、世界最新の機内エンターテイメント システムを導入した。 座席背面のスクリーンから、機内食の注文や、座席間の旅客同士のテキスト・メッセージングのヤリトリが出来るらしい。 間もなくすれば、ブロードバンド接続は、つまり機内 Wi-Fi ホット・スポットは、当たり前前のサービスとなるだろう。

そして、LH が、エコノミー・クラスに蚕棚式のベッドを導入する。 何とも窮屈で快適性に欠けた長距離便のエコノミー・クラス座席の品質が、これで飛躍的に改善されるだろう。 何時だったか忘れたが、この編集後記で、エコノミー・クラスに鉄道と同じ様な寝台（JR の B 寝台）が設置されたら、どんなに良いだろうと書いた事がある。 それが、もうすぐ実現されそうだ。 LH は、この寝台席の付加運賃を、Y ノーマル比でプラス£120（28,800 円）に設定する予定であると言っている。 東京＝ロンドンの場合、Y ノーマルは往復 663,930 円（東京＝ニューヨーク 476,880 円）するので、寝台席は 70 万円（50 万円）以上となってしまう。

（この値段では・・・高嶺の花となってしまうのか？）

米政府は、空の混雑を解消する為に、次世代の衛星を利用した、革新的な航空管制システムを導入する計画を進めている。 （H.U.）

TD 勉強会 情報 282 （ 以 上 ）

**表紙：**

三浦半島 剣崎灯台

1 色 1 版 手彩色

H 100mm×W 146mm

1988 年 8 月作